

藤枝市教育委員会

平成27年9月定例会会議録（要約）

藤枝市教育委員会 平成27年9月定例会会議録

- 開催日 平成27年9月29日
- 場所 藤枝市役所西館5階 第2委員会室
- 会議に附した事項 (別紙のとおり)
- 出席委員
教育長 山本満博
委員 下田実男 委員 松浦正秋
委員 大社幸子 委員 瀧下悦代
- 欠席委員
- 出席した事務局職員
教育部長 藤村啓太 教育政策課長 山田雅己
教育推進室長 梶川佐知子 主席指導主事 海老岡正乃
学校給食課長 中山文敏 生涯学習課長 片山豊実
図書課長 成岡均
総務係長 山本賢二 書記・総務担当係長 岸本倫子

教育委員会 平成27年9月定例会

日 時 平成27年9月29日 午前9時20分
場 所 市役所西館5階 第2委員会室

1 開 会 午前9時20分

2 会議録署名委員氏名 下田實男委員、瀧下悦代委員

3 日程第1

・諸般の報告

教育部長	1 9月市議会定例会一般質問・議案質疑の要旨について
主席指導主事	1 平成27年度文化活動県大会以上出場者について 1 「ふじえだ教師塾」後期開講式について
図書課長	1 平成27年読書週間（10/27～11/9）等の主な図書館行事
教育政策課長	1 青木中央公園の防犯カメラについて 1 第2回総合教育会議について

4 閉 会 午前10時40分

教育委員会 平成27年9月定例会

日程第1

教育長	これより日程第1に入ります。日程第1諸般の報告について、教育部長から順にお願い致します。
教育部長	1 9月市議会定例会一般質問・議案質疑の要旨について ●6名の議員から質問あり
事務局	1 平成27年度文化活動県大会以上出場者について ●西益津中 合唱コンクール関東大会 15校参加中 銅賞 11/24 表敬訪問 1 「ふじえだ教師塾」後期開講式について ●大学生・院生20名参加予定 平成28年度採用試験を受験予定の学生対象
事務局	1 平成27年読書週間(10/27~11/9)等の主な図書館行事 ●11/3 文化の日を挟んで開催 別添資料のとおり
事務局	1 青木中央公園の防犯カメラについて ●8月定例会の質問への回答 公園内には防犯カメラが4カ所設置済み 1 第2回総合教育会議について ●10/1開催予定 今後重点を置く5つの教育施策について協議
教育長	これより質疑に入ります。質疑はありますか。
委員	山本議員の質問「学校教育の水泳授業について」にある、小学生で2.5m泳ぐことを目標とするということは本当に素晴らしいことで、昔からこのような目標をたててやっているということは多かったと思いますが、現在ではスイミングに行っている子はとても泳ぎが上手でいくらでも泳げるけれども、行っていない子は犬かき程度だったりして、そういう子にとって着衣泳もないんじゃないかと思います。まず授業で水泳を覚えるのはとても難しいと思います。小中学生は年間、授業で水泳をどれくらいやっていますか。一昔前を考えるとそれぞれの学校で学年や個人の目標があって、目標カード等を持たせてやったりしました。また夏休みの水泳カード等があって、回数を決めて強制的にやらせている中で、かなり子どもたちは水泳をやっていたと思います。目標を達成すると水泳帽に白線何本等と決めていて、それを励みに子どもたちが頑張ったり、頑張りカード等をもって喜んでいたりしたように思います。現在もそういったことをやっているのか、あるいはそれに代わるような手だてがあれば教えていただきたい。 二つ目に、救命救急法について様々な所で講習会等やっていますが、水泳によ

る救命法や溺れた者の救助についての講習会を受講して資格等を持っている先生が、昔は1校に一人はいなければいけないとって誰かは持っていたもので、養護教諭とタイアップしながら他の先生方に人口呼吸法等を指導した事もありましたが、現在溺れた子がいたりした場合にはどのような対応ができますか。三つ目に、「自転車の利用促進について」のところ、新型タイプのヘルメットはシラミ対策や衛生上の問題には本当にいいと思いますが、強度の面では大丈夫でしょうか。

最後に感想ですが、非正規職員の雇用についてありますが、確かに就労の機会を待っている人たちもいることを考えると、3年や5年といった雇用期間の限度も必要かとは思いますが、今年からそういった期間を経過した人たちの再雇用も可能としたということについては素晴らしいと思います。現場にいる市の事務の方などはようやく学校の様子がわかって事務の手順も覚えて一人立ちできた頃に雇用期間終了となり、また新しい方になってしまい、県事務の方や教頭先生等がまた最初から教えていかなければならないといった大変さがなくなりますので、現場の先生方も大変喜んでいてと思います。これからも是非続けていただけるとありがたいです。

事務局

一つ目の年間の水泳の授業時数についてですが、学校によって多少の差はあるかと思いますが、夏休みの開始が遅くなってきているので、以前よりは確保されてきていると思いますが、10～12時間程度だと思います。中学生についても、たとえば中学1年生ですと他の種目もまんべんなくやらなければならないので、一つの種目にそんなに時間をかける事ができない上に、決められた時間でも天候が崩れてしまって水泳の授業ができない事もあるかと思いますが。

それから、目標を持たせる手だてについては、私も以前は水泳教室があったり記録会があって線をもったりして励みになった事がありましたが、今現在そういった事を行っている学校はないと思います。それぞれ学校での指導の中で、水泳カード等があって自分が目標としたものをクリアしたらシールを貼ってもらう等の手だてはあると思います。二極化の話もありましたが、やはり学校の授業だけで泳力をつけるのはやはりなかなか難しいですし、夏の間にも冬春と過ぎると忘れてしまうこともあるので、スイミングに通っている子どもも増えているのかと思います。実態をとらえて、課題別にたとえば泳法のコースや距離のコース、速さのコース等グループを組んで指導している所も多いのではないかと思います。

救助についてですが、救命救急の講習については各校で年1回か隔年には学校で消防署に行って講習を受けていると思います。今は主にAEDの講習が中心だと思いますので、水難救助のための講習は受けていないのではないかと思います。けれども、体育を任されている教員については救命救急の講習会が県等で開かれる事があって、何年かのうちに必ず受講することになっているので、そこで水難救助についても知識や技能を身につけたものが指導に当たっています。

事務局

ヘルメットについては、学生協で扱っているものは品質保障がされています。ISOという機関の認証を受けているので、通気孔はありますが強度について心配はありません。

委員

先程、水泳の時間数が10～12時間ということでしたが、非常に少ない授業時間の中で25mを泳がせるのは、とても大変な事だと思います。授業でき

ないところは、是非ほかで補っていただきたいと思います。放課後等に先生が当番について、30分でも1時間でも自由に泳がせてやる中で水泳を覚えて泳げるようになっていく子も結構いると思います。先生方が本当に多忙で大変なのはわかりますが、夏休みにも何回かはプールの時間を確保してあげられれば、子どもたちはきっとそこで水に慣れて泳ぎを覚えていくと思いますので、是非お願いしたいです。

事務局

放課後や夏休みのプール開放のお話がありましたが、この議会の質問を受けて調査した所、小学校では1校を除いてすべての学校で夏休みのプール開放を行っていました。残った1校についても地域で水泳がさかんなので学校で行う必要がなかったのだと思われます。多い所では夏休みに10日間で15回開催していたり、12日程度開放していたりして予想以上に開放はされていると思いました。中学校では、部活動があるのでなかなか開放しても子どもがこないという事があるのだと思いますが、それでも補講を含めて4校は開放しています。学校教育では泳力をつける事だけが目的ではないので、将来に渡って水に親しんでいく児童生徒を育成していくという思いで指導にあたっていると思います。

委員

「子どもの貧困問題について」の所で、あまり詳しく理解していなかったのも、どういう数字が根拠となって貧困という基準がつけられているのかと疑問を持ちました。自分なりに調べてみましたら、市では就学援助率の数値から算定という事で資料にある6.43%という数値が出されているということがわかりました。国の就学援助率を見たところ二桁になっていたのも、国と比較すると本市は恵まれているのかと感じました。県も就学援助率の数値から貧困率を出しているようなので、県の就学援助率はどれくらいなのか教えていただきたいです。

またそのことで、本市の対策として「教育の支援として、貧困家庭の子どもに学習の場の提供」とありますが、これはどういう形で行われているのですか。

事務局

詳細な数値は持ち合わせていませんが、県と市はほぼ同じような数値だったと思いますが、後ほど確認します。

学習の場の提供については、自立支援課の事業でやっています。塾のような形で業者に委託して、対象者で希望する人に勉強してもらおうようになっています。

教育長

人数は少なかったように思います。4～5人程度だったようです。

事務局

学習チャレンジ事業ですね。

委員

人数的にはもう少し対象の子はいるけれども、実際に通っている子は少ないのですね。

事務局

鈴木議員もまさに今の事で学習チャレンジ事業について再質問をしていました。せっかく事業があるのに、なぜ参加する子どもがそんなに少ないのかという質問でした。健康福祉部で答弁をしましたが、始まったばかりで周知不足という事があるということで、これからもっと周知をしていくということでした。

元々この質問は、一月程前に静岡新聞の一面に、静岡県の貧困の子どもの数が出て、その数字が就学援助率から出していたため、藤枝市の状況はどうかと聞かれたものでしたが、県と藤枝市は同じ傾向でした。

教育長

そのほかによろしいでしょうか。

それでは、以上で本日の全日程を終了いたしましたので9月定例会を閉会いたします。

閉 会

午前10時40分